



久之浜 防災緑地づくり 7号

かわら版

平成26年5月20日

久之浜防災緑地

4月20日(日)

「緑地育成活用のお楽しみづくり」 13時~17時

第7回 防災緑地づくり会議の報告

久之浜らしい森づくり ~住民が楽しく使いこなす

この日の参加者は24名。前半に、第6回防災緑地づくり会議の際に出た質問に専門家が答える時間を設け、後半では緑地の利活用について4つのテーマ別グループで意見を出し合いました。それに先立ち、2つの公園活用事例も紹介され、それもヒントにアイデアを広げることができました。

【県からの投げかけ】

防災緑地は県がつくる都市公園ですが、多くの方にかかわっていただくために、まずは「このような防災緑地にしたい」という思いを出してみてください。そこから「どのように実現できるか」「どのくらいの維持費がかかるか」「どのような体制が必要か」なども、まちづくりと一緒に考えていきたいと思っています。



4つのテーマで、防災緑地の魅力アップ、活用の提案を出し合いました。

自然 (環境学習)

- ・まち側の斜面や道路沿いに花木を植えたい(ツツジ、ツバキ、サクラなど)。ガレキ置き場にもサクラなどを植えられるとよい。
- ・道沿いの排水路をつかって、生き物のいる水辺(ビオトープ)ができないか研究したい。



緑地の運営

- ・ボランティアや情報発信の拠点をつくる。レストランも併設したい。
- ・防災緑地をまちの活性化に結びつけるために、実のなる木を植えて販売や特産品づくり(お菓子、ワインなど)を考えてみたい。
- ・まち側の斜面には、四季おりおりの花を咲かせたい。



- ・昔、海岸付近でやっていた行事をできるだけ復活させたい。
- ・災害公営住宅に住む高齢者などの健康づくり、見守りにつながるようなウォーキング、マラソン大会など。
- ・花いっぱい活動をしたい。
- ・釣り場を復活させるなど、海や川での楽しみを生み出したい。

イベント・憩い



- ・湧き水、川の水を使って、水遊びの場をつくりたい。
- ・斜面を活かした遊具をつくったり、ログハウス等を置けるとよい。
- ・広い場所、まちに近い場所など、遊び場の条件をよく考えて位置を決めていきたい。

子ども遊び



*みなさんの提案や課題を計画図に落としました。(中面参照)  



みなさんは、どのテーマに関心がありますか？
別途、アンケートを配布しておりますので、ぜひ、いろいろなご意見、アイデアをお寄せいただきますようお願いいたします。

第7回防災緑地づくり会議 ～住民が楽しく使いこなす
テーマ別グループで、こんな提案が出されました。

自然（環境学習） 緑地の運営 イベント・憩い 子ども・遊び

緑地の計画（県） ■ 市の事業地 昔あった催し、なつかしい場所（イベント・憩いグループで出されたもの）

【県より】ここで出された提案には、担い手が必要なこともあります。どのように実現していくか、みんなで考えていきましょう。



1号緑地／憩いの小広場
 (四阿、ベンチ)

2号緑地／健康づくり広場
 (軽スポーツ用広場、植栽)

【提案】グランドゴルフができるようにしたい。

【提案】今も川沿いの道がつながるとよい。

3号緑地／子どもの学びの広場
 (環境学習のできる環境、植生)

【提案】子どもの遊びに水は大事なので、川の水や湧き水を使い、どこかに水辺ができるとよい。

県／緑地内で魚や生き物と触れ合える水辺がつけられるか検討したい。



5号緑地（南）／潮騒の遊歩道

(海側はクロマツ中心、まち側は地域らしい樹種による樹林、散策路、管理用通路兼自転車道)

【提案】防災緑地全体でウォーキング、ジョギングのルートがつけられるとよい。マラソンコースをつかって大会を開催するのもよい。

○【黒沢先生のアドバイス】

排水路に溜まりを設け、湿地ピオトープを創出し、ヨシ原を作ればオオヨシキリやオニヤンマ、ギンヤンマなどの生き物が飛んでくる。



【提案】ガレキ置場に桜の木を植えたい

【提案】広い広場、斜面緑地があるので子どもの遊び場の第1候補。地面を土にして手作りの遊具、みんなが集まれる場所をつくれるとよい。

4号緑地 久之浜集いの広場
 (多目的広場、トイレ、四阿)



【提案】かつての行事はこの一帯で行われていた。また復活したい。



並び岩があったが水没

【提案】子どもの遊び場の第2候補。市の公園、商業街区と一体的に計画できるとよい。

【提案】1号公園あたりに、ボランティアや情報発信の拠点があるとよい。

5号緑地（北）記憶の伝承広場

(慰霊碑、震災の記録を刻むモニュメント、散策路、自転車道)



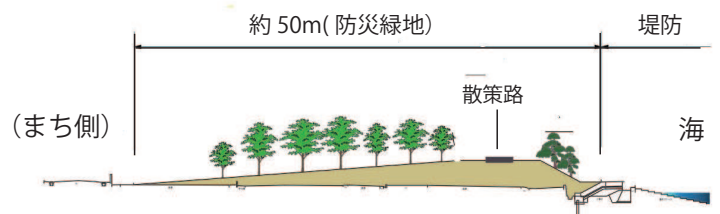
5号緑地のまち側への提

【提案】道路沿いに花木を植えたい。ツツジ、ツバキ、サクラなど。

【提案】まち側の斜面には、花があるとよい。花いっぱいイベントをおこなえるとよい。

【提案】実のなる木を植えて活性化につなげる(例)栗／お菓子にすれば価値が高まる。虫がつきやすい。ぶどう／ワインができる。商売にはもっと量が必要だが、ここにシボリックに植えてPRできればよい。ナツハゼ／目によい成分が豊富。ジャム、お茶になる、焼酎につける。

【提案】通年花が咲いているようにしたい。緑地の街側に花を連続して植えると素晴らしい。



今後の課題となること（抜粋）

自然（環境学習）グループ

- ・気候や日照条件、潮風等を考慮した樹種、住宅側からの景色を創出する樹種について、もっと具体的に掘り下げた議論にしたい。

緑地の運営グループ

- ・住民がNPOをつくり、そこが事業や維持管理を行えるとよい。
- ・防災緑地の維持管理費を行政がどの程度見てくれるのかが重要。

イベント・憩いグループ

- ・設計や管理運営へ反映させるためのタイミングが大事。
- ・四阿の位置などは使い方を考えてからデザインを決めたい。
- ・人が集まる場にするには、ハードだけでなくソフトも重要。
- ・トイレはできるだけ人が集まるそばに欲しいが、管理が課題。
- ・イベントをやるにしても、その仕掛けづくりが重要。

子ども・遊びグループ

- ・10年くらいは木が育たないので、築山をつくるとか、小屋を建てるとか、何か工夫しないといけないかもしれない。
- ・緑地の斜面をつかっておもしろい遊び場ができるとよい。

クロマツの成長の目安

クロマツは、比較的成長が早い樹です。広葉樹が右の高さになるのに20~30年程度かかります。



子どもの家（例）
遊びをサポートする大人と一緒に、子どもがつくった秘密基地です。
（東京都世田谷区・プレイパーク）

事例紹介／住民主体で魅力的な運営をしている公園

グループでの話し合いの前に、2つの住民主体の緑地運営の事例について、実際に運営にあたっている方からお話を聞きました。

どちらも自治体の公園で、計画段階から住民の意見が設計に反映され、完成後は住民組織が「指定管理者」として委託を受けている例です。

*指定管理者：公的な施設の管理・運営を行政の代行として行うよう、所管する自治体から指定された民間事業者、NPO等団体のこと。公園の管理委託を受ける例も増えている。



小学校の総合学習でせせらぎづくり
（停車場ガーデン）



長野県小諸市・停車場ガーデン

指定管理者：NPO 法人こもろの杜（もり）

衰退した駅前を活性化するために、市がつくる公園を多くの市民の参加で考え、汗を流して、すてきなガーデンが生まれました。公園事務所の予定だった建物を、おしゃれなカフェ&ショップにして観光の目玉になりました。園芸専門スタッフとシェフの他のスタッフはみな地元の女性たち。花壇の維持管理には、たくさんボランティアが楽しみながらかかわっています。また様々な講座、イベントなども行われ、管理エリアもどんどん広がっています。



神奈川県横浜市・長屋門公園

指定管理者：長屋門公園運営委員会

横浜市が、古い民家と周囲の森を一体的に公園として再生し、市民が運営しています。6人のスタッフに約100人のボランティアが協力し、それぞれの特技を活かして維持管理活動や催しに取り組んでいます。年間100近い自主企画の行事は子育ての場、高齢者の生き甲斐、学校の郊外活動につながり、ふるさとづくりの拠点となっています。これらの活動が発展して、近くの公園内に「見守りの家」というログハウスを自ら建設しました。300人近い住民がローテーションで常駐し、お年寄りから子どもたちの支え合う集いの場となっています。

現地に集って、防災緑地を
知ろう、話そう！

きらきら広場

場所：
秋葉神社付近

6月1日(日) 9時～13時

防災緑地について考えるコーナーもあります。
主催：久之浜町商工会青年部

【主催者のコメント】

久之浜、大久地区のみならず、お待たせいたしました。
現在の被災地では復興から再生へ、そして新生への準備
が着実に進んでいます。今回の事業では、より良い生活
をみなさまと共に働き作り上げるための考える場を設け
ておりますので隣近所にお声かけの上で参加下さい。尚、
この事業はイベントではありません。ご了承ください。

第8回 久之浜地区防災緑地づくり会議

～魅力的な活動を考えるパート2
少しずつ活動が見えてきた～

6月15日(日) 12時半～16時半

第1部 12時半～：植樹体験
集合場所：秋葉神社前

神奈川県永田台小学校の生徒さんと一緒に、育
ててもらったドングリの植樹体験を行います。

第2部 14時～：防災緑地づくり会議
場所：久之浜・大久支所

新たな資料を基に、前回のアイデアを具体化します。

第6回防災緑地づくり会議で出された質問への答え

～生き物の観点から考える～ Q & A

第6回防災緑地づくり会議で出された多くの質問に対し、第7回会議で
専門家の先生から詳しく解説をいただきました。概要をお知らせします。

Q. 主要木がクロマツとなった理由は？ マツクイムシは大丈夫？

A. 【木田先生】クロマツを選択した主な理由は次の3点。①海岸
の厳しい環境で生育できること。②10年程度で背丈以上に成長
すること。③久之浜の気候に合っていること。また、マツクイム
シに対して抵抗性のある種を植えること。

Q. 生物多様性から考えると、クロマツ、ハマナデシコ、ツワブ
キは大丈夫か？

A. 【黒沢先生】生物多様性に配慮するのは最先端の考え方。そ
れだけを考えると何も植えない方が良いが、「防災」「住み易さ」
「生物多様性」の両立を目指すのが現実的。クロマツは普通に生
育している樹木で、以前から植栽もされていたので、植栽の影
響は少ないと思われる。ハマナデシコやツワブキは絶滅危惧種
等なので、理想的には植栽は望ましくないが、いわき地域には
多数生育するので、地元産を小規模植えるのであれば、影響は
少ないと思われる。

Q. 造成工事でなくなる希少種の引っ越しはできるか？

A. 【黒沢先生・根本先生】ハッタツアザミのように世界でここ
にしかないという種は、種の存続のために植物園で育てる方法
が考えられる。ハマナデシコやツワブキのように、周囲にたく
さん見られる植物の場合は、移植先の生態系を攪乱しないため
に、(かわいそうに思えるが)移植しない方が好ましい。



Q. 雑木林を作るためのクヌギやコナラ、収益を上げるための
樹木を植えることは？

A. 【黒沢先生】クヌギは中国からの移入種で種類も少なく、遺
伝子の攪乱にならないので大丈夫。コナラは周辺にたくさん見
られる。この地域のドングリから育て数百本程度なら大丈夫。
ブドウなどの栽培植物は、生物多様性の観点から問題はない。
【木田先生】風の強い場所で育つ植物は少ない。柑橘類は塩害
に強い。

Q. 最初から大きな木を植えるのはどうか？

A. 【木田先生】シンボルとなる木は大きな木を植えても良い。
大きさの条件は重機で操作可能なこと、運べる限界、コストなど。

Q. 手間のかからない森づくりは、どのような点に注意したら
良いか？

A. 【木田先生】手間のかからない森はない。人のそばにある以上、
見通しの確保、枝折れとか、除間伐、草刈りなど、手をかけて
育てていくことが大切。

※まちづくりの哲学に関する質問は、今後の宿題になりました。

【お問い合わせ先】

福島県いわき建設事務所

☎ 0246-35-6075(石倉、菅野)